

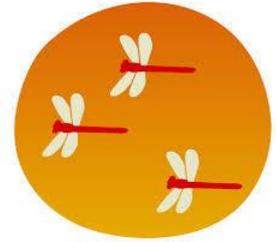
# 至徳

射水市立金山小学校

学校だより

令和2年10月30日

No. 24



## 備えあれば憂いなし

10月26(月)に今年2回目となる避難訓練(地震・津波)を行いました。例年は、金山保育園の園児たちと一緒にっていますが、今回は小学校のみで行いました。

地震、台風、大雨、山崩れなどが原因となって起こる災害は、自然災害と言われます。地震も自然災害の一つで、いつ、どこで、起こるかわかりません。寝ているときに起こることもあります。明日起こるか、30年後に起こるかもわかりません。旅行に行っているときもあるかもしれません。地震を研究している学者でも、未だに、何年何月何日の何時何分にどこで地震が起きるとは予測できないのです。

ただ自信をもって言えることは、これから先、どこかで、必ず地震は発生するということです。災害はいつどこで起きるか分かりません。富山に住んでいる私達は、大人でも今まで大きな地震による被害をあまり経験していません。だから、つい地震を甘く見てしまいがちです。まさに「油断大敵」です。日頃からしっかり避難訓練をしておけば、突然地震が起こっても心配することはありません。「備えあれば憂いなし」です。いざというときに、的確な判断をして自分の身は自分で守ることができるよう訓練を重ねていきたいと思えます。



## ○ 千成ひょうたんの贈呈式

10月26日(月)千成ひょうたんの贈呈式を行いました。

姉妹校交流で猿楽小学校の来訪の際には、小杉ライオンズクラブさんより両校を結ぶ記念にと「千成ひょうたん」を寄贈していただいています。今年の来訪はかないませんでしたが、今後も末永く交流を続けていってほしいと「千成ひょうたん」を寄贈していただきました。6年生の代表が、姉妹校交流を支えてくださっている猿楽会の理事で小杉ライオンズクラブ前会長宿屋さんより受け取りました。ありがとうございました。



## ○ 読書週間

学校に植えてある色々な木が、赤や黄色に色づき始めました。秋は「読書の秋」と言われ、本を読むのにぴったりの季節です。

さて、語彙の量と質の違いが学力差に大きく影響しているとの指摘があります。また、小学校で読書能力形成がその後の自立に向けた学びにも影響するとも言われています。

子供たちがよい本と出会い、言葉を学び豊かな感性を磨き表現力を高めることは、豊かな人生を送ることに大切です。学校では今年も読書週間（10月26日～10月30日）を設け、本を身近に感じ、読書の楽しさを全校に広めようと学校司書の新川先生と図書委員で色々な企画を考え、実行しました。

### \* 読書週間の取組

#### ・「図書キャラクター」の募集

今回で9回目となります。41のキャラクターが集まりその中から図書委員が最終候補を10キャラクター選び、全校のみんなに投票してもらいました。今回は、新しい試みとしてICTの授業内でスカイメニューの投票機能を使い投票をしました。その結果9代目図書キャラクターは「カラフルブックうさぎ」に決定しました。さっそくしおりとなり子供たちの手元に届き始めています。この後も読書の楽しさを勧める顔として活躍してくれそうです。



#### ・「おすすめの本」の紹介

参加者には、図書キャラクターのしおりが、プレゼントされます。

#### ・「たからくじ」

期間中、学校の図書館で本を一冊借りる毎にくじがもらえます。11月5日に委員会で抽選を行い、6日に当選番号が発表されます。1等：えらべる本グッズ、2等：手づくりブックメモ、3等：しおり、4等：もう1冊貸出券です。



学校では、子供たちがたくさんのお本に触れるようにと工夫しています。近年は家庭で落ち着いて本を読む機会が少なくなっているとの指摘もあります。時間の確保は大きな課題ですが、読書をする習慣づくりは小学校段階で大切だともいわれています。家庭で少しの時間を読書の時間としてもらえるとうれしいです。

## ○ 人文字の撮影をしました

猿楽小学校との交流集会に向けて、全校みんなで人文字を作り、滝沢さんに来ていただきドローンで撮影をしました。

人文字の計画を立てたのは企画委員会の児童です。どんなデザインにするかを考え、最終的には4つのデザインの中から全校に選んでもらって決めました。決まったデザインは「絆」です。

委員会活動の時間を使ってグラウンドに文字を書きました。大きな文字を書くのは難しく、3階からTeamsでとり、手元のタブレットで確認しながら作業を進めました。人文字の撮影には、ちょっとした工夫が加わりました。とてもすてきな映像になる予定です。

